

60268

教科書文庫

6

720

34-1950

01304  
49793

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

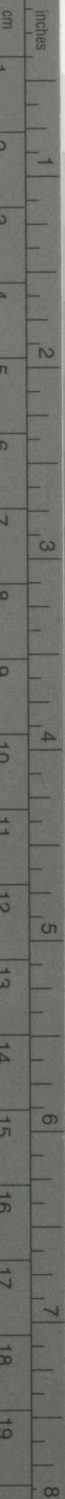


© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



方書の字

23 小国 432  
修文

文部省検定済教科書



東京修文館

東京芸術大学  
石橋啓十郎監修  
奈良 交社著  
長

204類  
1 號

TIA7  
17L0  
23





四年生のみなさんへ

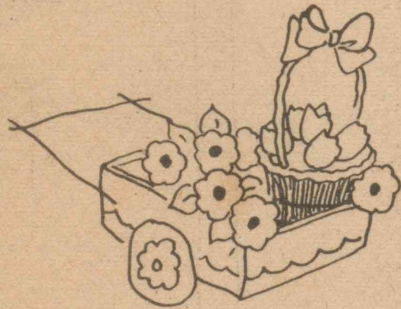
- 一、手本をよく見て書きましょう。
- 二、書きじゆんに気をつけましょう。
- 三、正しく、美しく、しかもはやく書けるようになりましょう。
- 四、しせいや、えんぴつのもち方を正しくして書きましょう。
- 五、形のとり方をくふうして、きれいな字が書けるようにしましょう。
- 六、「かな」と漢字がつりあうように書きましょう。

修文 四年上 一折表

昭和25年8月12日  
文部省検定済  
小学校国語科硬筆書方

# 字の書方

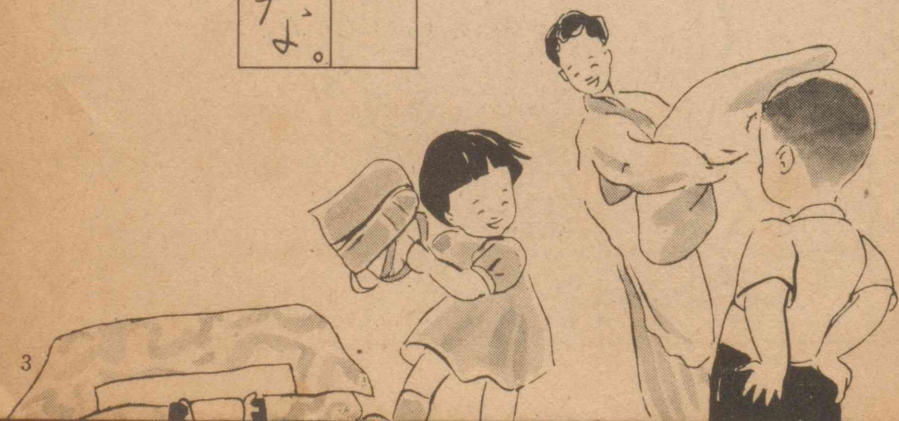
東京芸術大学 石橋啓十郎監修  
奈良女子高等師範学校 長岡文雄著



上  
四年



ぼ	ぼ	か	毎	妹
く	く	ば	朝	が
は	も	ん		一
も	あ	を	早	年
う	ん	持	く	生
四	な	っ	か	に
年	だ	て	ら	入
生	っ	さ	起	学
だ。	た	わ	き	し
	か	ぐ。	て	た。
	な。			



修文 四年上 一折裏

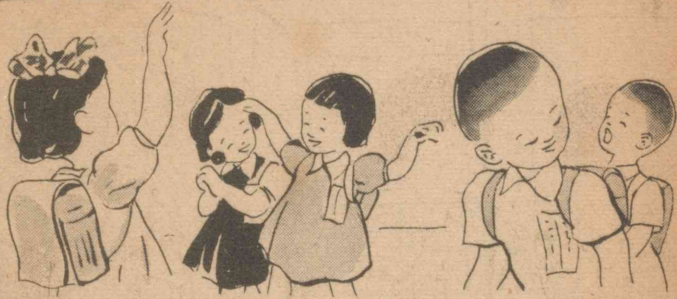


えんぴつのよいもちかた。

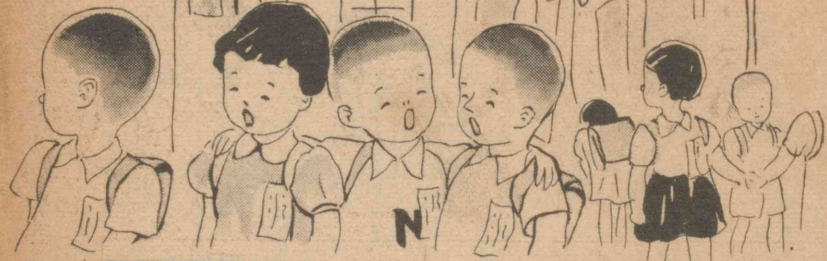
広島大学図書

0130449793





帰	さ	手	て	唱
る	よ	を	い	歌
子	う	ふ	く	を
ど	な	り	子	
も	ら	な	ど	大
	を	が	も	き
	し	ら		な
	て		な	声
	走	先	ん	で
	っ	生	ど	歌
	て	に	も	っ

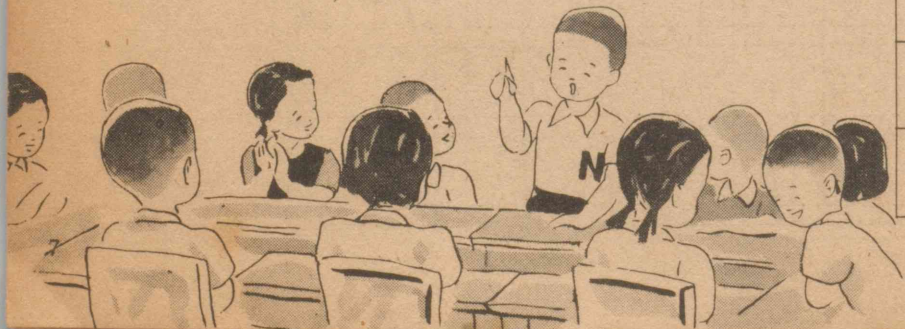


				も
				う
				帰
				る
				子
				が
				あ
				る
				、
				妹
				た
				ち
				だ
				。
ど	で	い	手	
も	話	く	を	
	し	子	つ	
な	な	ど	な	
ら	が	も	い	
っ	ら		で	
た	出	か	校	
ば	て	た	門	
か	い	を	を	
り	く	組	出	
の	子	ん	て	



く	代	た	私					ま	に
つ	表	め	た					し	一
も	と	に	ち					た	学
り	し		の						期
で	て	四	学						の
す		年	校						間
	し	一	を						出
	つ	組	よ						る
	か	の	く						こ
	り	学	す						と
	働	級	る						に

き  
ま  
り

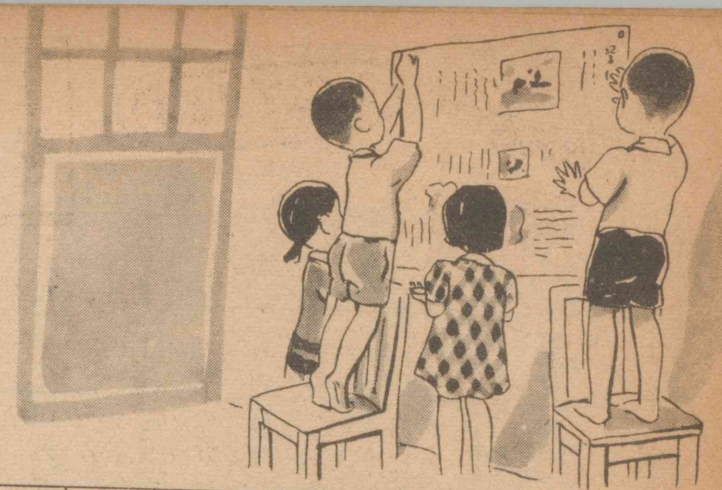


私				を	学				
は					級				
組				せ	会			四	
の				ん	で			月	
代				き				十	
表				よ	四			日	
で				で	年				
				き	生			木	
学				め	の			曜	
校				ま	新			日	
の				し	し				
自				た	い			雨	
治					役				
会					員				



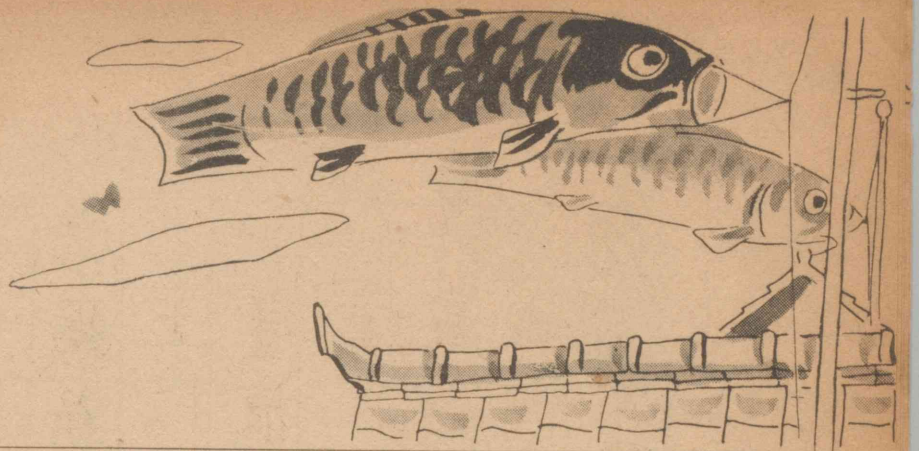
る	図	し	ユ	学
こ	画	い	ー	級
と		く	ス	新
に	ま	日		聞
き	ん	記	詩	第
め	画		作	一
た		童	文	号
	運	話		に
	動			は
	記	わ	観	
	事	ら	察	学
	を	い	日	級
	の	話	記	の
	せ			二

修文 四年上 一折表



ん	な	新			行	学
な	っ	聞			す	級
に	て	が			る	会
相		か			こ	で
談	編	り			と	
し	集	の			に	学
た	に	者			な	級
	っ	が			っ	新
	い	中			た	聞
	て	心				を
	み	に				発





学校新聞にのった私の詩。

左の詩を写しなさい。

修文 四年上 二折裏

五月の空

川口正男

黒と赤のこいのぼり。  
上になつたり下になつたり。  
屋根につくかと思つと。  
高い空へ泳いでいって  
風をいっばいにすう。  
黄色いちようちよも飛んで来て。  
こいのまわりを泳ぐ。  
こいとっしよに泳ぐ。



手	波	な	そ	め
を	が	水	う	だ
た	立	の	に	か
た	つ	お	泳	の
く		も	い	む
と		て	で	れ
		に	い	が
急			る	
に		小		み
向		さ	平	が
き		い	ら	る



つ	て	し	の	を
	来	ば	下	か
そ	て	ら	へ	え
ろ		く		て
う	な	す	す	
と	か	る	ば	川
ま	ま	と	や	ば
た	が		く	た
泳	そ	ぼ	に	の
ぎ	ろ	つ	げ	し
だ	う	ぼ	こ	げ
す	ま	つ	む	っ
	で	と		た
	待	出		草



5月18日 晴

キャベツの葉にちょうちがよくとまる。

ちょうちのとまった所をおぼえておいて、

そのあとを調べてみたら、黄色がかった

小さい1ミリほどのつぶが見つかった。

たまごかもしれないので、家へ取って

帰って観察日記を書くことにした。



み	と	く	ろ	き				
ん	お	ん	う	よ				
な	っ	に	か	う				
の	し	ふ	の					
役	や	で	か	先				
に	っ	で	べ	生				
立	た	書	に	が				
っ		い	は					
の		て	る					
が		も	詩					
う		ら	は					
れ		お						
し		う	川					
い		っ	口					

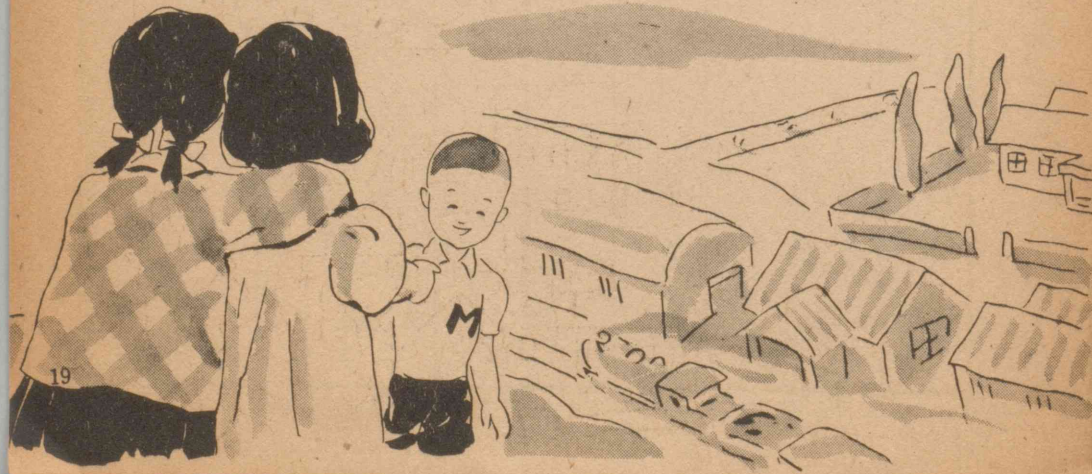
い	た	は				グ	自		
よ	時	じ				ル	由		
う	は	め				ー	研		
な		て				プ	究		
気	う	ふ				に	で		
が	れ	で				入			
し	し	を				っ	私		
た	い	持				て	は		
	よ	っ				い	習		
	う	て				る	字		
	な	字					の		
		を							
	こ	書							
	わ	い							



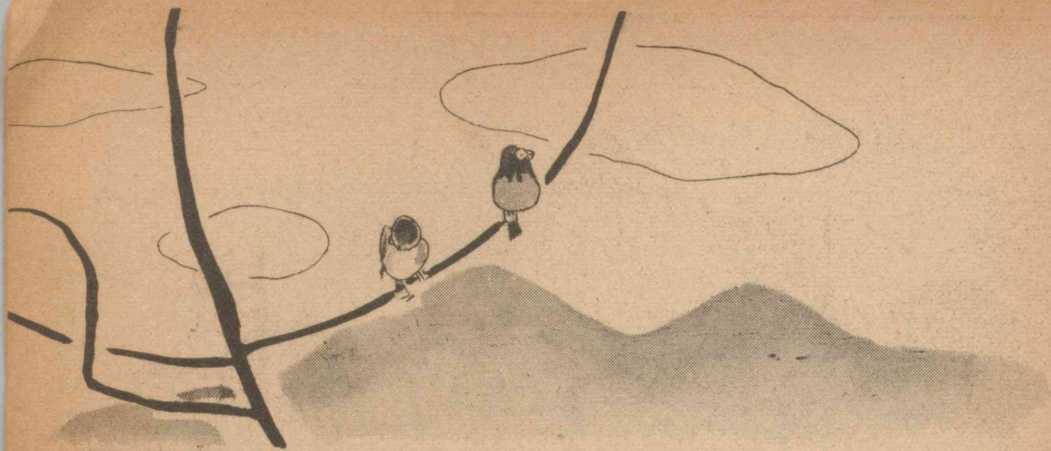


車	よ	走	白	そ
の	う	る	い	の
黒	だ	自	お	中
い		動	び	で
け	駅	車	の	目
む	を	は	よ	立
り	出		う	っ
が	て	豆	な	て
あ	い	つ	国	見
が	く	ぶ	道	え
る	汽	の	を	る

デ	学	庭	大	町
パ	校	を	き	の
ー	や	見	な	東
ト		る	私	に
や	駅	よ	た	あ
	や	う	ち	る
		に	の	花
工	市	小	町	山
場	役	さ	も	に
な	所	い		登
ど	や		は	る
が			こ	と







き	の	う	の	か	み	な	り	で
つ	ゆ	が	あ	け	た。			
強	い	太	陽	の	光	が		
急	に	ま	ぶ	し	く	て	り	つ
い	よ	い	よ	夏	の	空	も	よ
								う
だ								
白	い	雲	が	山	の	上	に	
む	く	む	く	わ	き	あ	が	る。
雲	を	見	て	い	る	と	楽	しい。
今	に	ぼ	く	の	す	き	な	い
入	道	雲	が	出	る	だ	ら	う。


左の詩を写しなさい。なん分で写せますか。( )分



左の手紙文を写しなさい。なん分で写せますか。(分)

友ちゃん、お手紙ありがとうございます。

夏休みになったらすぐおうかがいして、一週間ほどおじゃますることにしました。

ことしは、二十メートルぐらいは泳げるようになるつもりです。それに平泳ぎも練習して、できるようになりたいと思います。

友ちゃん、また海で遊びましょうね。

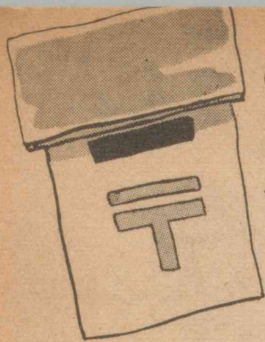
新しい海水着も買ってもらいました。今から楽しみにして待っています。

七月十日

川口正男

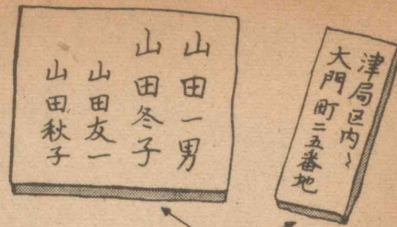
山田友一様





LETTERS

ゆうびん受



表札

この文を自分のちようめん(封筒)に写しなさい。

ふうとう(封筒)に手紙を入れて出しました。

あて先は、友ちゃんからきた手紙のふうとうのうらを見て写しました。

はいたつ局名も書いてありました。一行にはいらないので、ことば

のきれめを考えて、番地の所から切って二行目に書きました。

友ちゃんの名前は、切手をはる時にかくれないように、ふうとうの

まん中の方に書きました。

ふうとうのうらに私の住所と名前と日づけを書きました。住所には

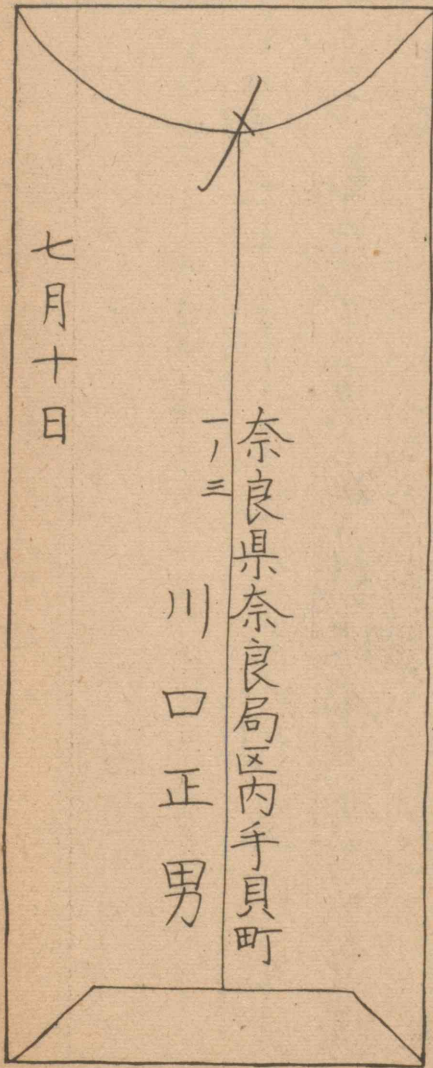
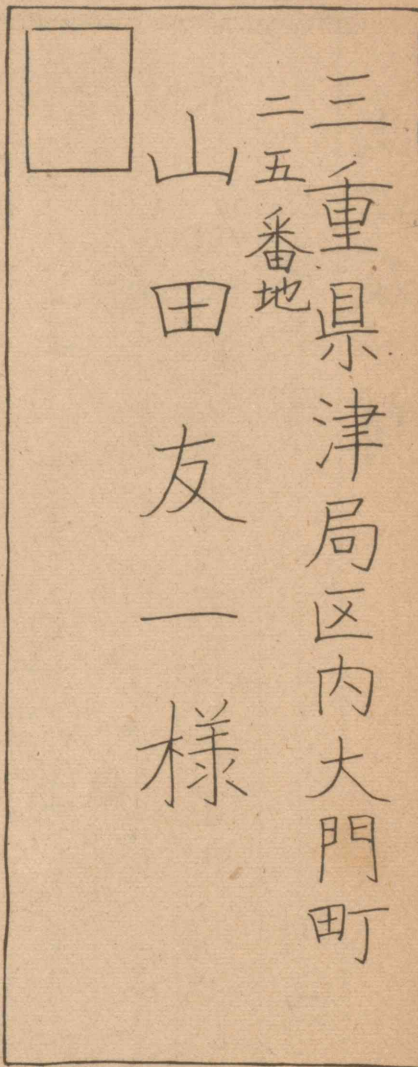
はいたつ局名もいれました。あて名の字より小さい字で、ふうとう

の下の方に書きました。

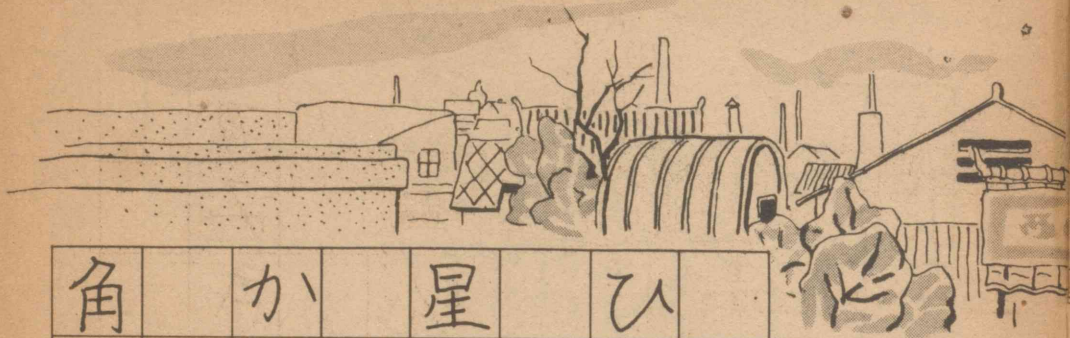
日づけは、左上の方に書きました。

のり(糊)でふうとうをした後でふうじた所に「しめ」を書きました。

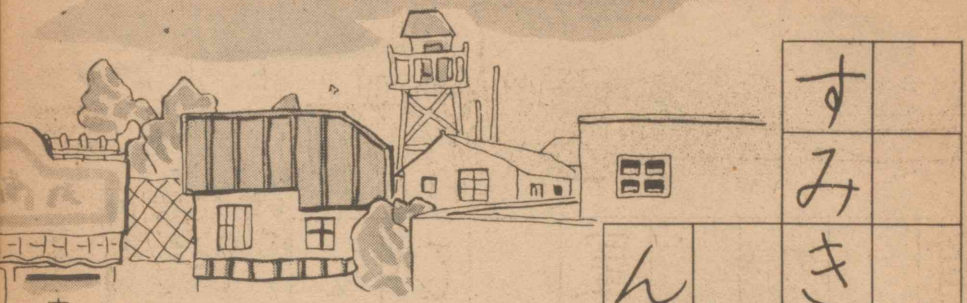
あなたの住所と名前を書きなさい。はいたつ局名も入れなさい。








角	か	星	ひ	
を	が	の	し	光
知	や		や	っ
る	く	ひ	く	て
大	北	し	の	い
切	極	や	形	る
な	星	く	を	の
星	は	の	し	は
だ		先	た	北
	北	の	北	極
	の	方	と	星
	方	に	七	だ



			ん	す
				み
				き
				っ
北	に	頭	の	た
の	天	の	星	高
空	の	上	が	い
の	川	に	美	夜
中	が	は	し	空
ほ	つ		く	に
ど	づ	お	ま	
に	い	び	た	
	て	の	た	た
強	い	よ	く	く
く	る	う		さ



と	ぐ	目	数	ら
	ら	で	が	な
も	い	見	だ	い
つ	ら	え	ん	し
と	し	る	だ	
も	い	星	ん	そ
つ	が	の	ふ	れ
と		数	え	に
多	望	は	て	
く	遠	ね	く	見
な	鏡		る	て
る	で	二	か	い
よ	見	三	ら	る
。	る	千	。	と



ど				
こ				
か			い	に
ら	と	正	く	い
か	て	男	つ	さ
ぞ	も		ぐ	ん
え	か	か	ら	こ
た	ぞ	ぞ	い	の
ら	え	え	あ	空
い	き	て	り	の
い	れ	ご	ま	星
か	な	ら	す	の
わ	い	ん	か	数
か	な	。	。	は



左の文をきれいに書いてごらん下さい。なん分で写せますか。(分)

星のほとんどは、みんな自分で光を発してかがやいているのであって、太陽もそのひとつだそうだ。空の星が小さく見えるのは、ずいぶん遠くで光っているからであって、なかには、太陽よりずっと大きいのもあるそうだ。

先生が、ひつじゅんの話をしてくださったのをまとめてかいてみた。

- 一、正しいひつじゅんで書くと、手指が自然に動いて、無理がないから、書きやすい。
- 二、正しいひつじゅんで書くと、はやく書ける。
- 三、正しいひつじゅんで書くと、正しい字が書ける。
- 四、正しいひつじゅんで書くと、美しい字が書ける。
- 五、正しいひつじゅんは、むかしから、たくさんの人々が、研究してきめた、一番よい書きじゅんである。
- 六、ひつじゅんは、だいたい、字の左上から書きはじめ、右下で終るのが多い。少しばかり特別な書き方をする字もある。

自分の紙に写してごらん下さい。なん分で写せますか。(分)



ひつじゅんのむずかしい字をけいこしましょう。

庭	野	曜	期	歌	調	編	観	察	凶
テ ノ エ ノ コ	ノ ノ ノ ノ ノ	ノ ノ ノ ノ ノ	二 月	ノ ノ ノ ノ ノ	ノ ノ ノ ノ ノ	ノ ノ ノ ノ ノ	見 ノ ノ ノ ノ	ノ ノ ノ ノ ノ	ノ ノ ノ ノ ノ

画	登	望	鏡	陽	局	数	極	飛	地
ノ ノ ノ ノ ノ	ノ ノ ノ ノ ノ	ノ ノ ノ ノ ノ	ノ ノ ノ ノ ノ	ノ ノ ノ ノ ノ	ノ ノ ノ ノ ノ	ノ ノ ノ ノ ノ	ノ ノ ノ ノ ノ	ノ ノ ノ ノ ノ	ノ ノ ノ ノ ノ

球	旅	港	渡	農	業	身	鼻	病	院
ノ ノ ノ ノ ノ	ノ ノ ノ ノ ノ	ノ ノ ノ ノ ノ	ノ ノ ノ ノ ノ	ノ ノ ノ ノ ノ	ノ ノ ノ ノ ノ	ノ ノ ノ ノ ノ	ノ ノ ノ ノ ノ	ノ ノ ノ ノ ノ	ノ ノ ノ ノ ノ

熱	博	館	静	練	表	美	炭	働	第
ノ ノ ノ ノ ノ	ノ ノ ノ ノ ノ	ノ ノ ノ ノ ノ	ノ ノ ノ ノ ノ	ノ ノ ノ ノ ノ	ノ ノ ノ ノ ノ	ノ ノ ノ ノ ノ	ノ ノ ノ ノ ノ	ノ ノ ノ ノ ノ	ノ ノ ノ ノ ノ

教師や父兄のかたへ

- 一、四年生硬筆書き方指導のめあて
  - 1 「かな」と一部の漢字の書字に十分習熟させる。
  - 2 「かな」と漢字を調和よく、全体に気持をつづけて書けるようにする。
  - 3 正しく、美しく加えて、さらに速く書けるようにする。
  - 4 筆順を正しくして、自然に書くようにさせる。
  - 5 姿勢、執筆に悪い習慣がつかないようにする。
- 二、上、下の編集について
  - 1 三年の発展として編集した。三年までと同様、主人公「川口正男」の生活経験を中心としてすじを通し、主として学級としての学習生活をとりあげた。
  - 2 「ことば」や文字は、児童がよめて、意味がわかるようなものをとるようにした。
  - 3 文字は「かな」と一部の漢字をとり、「かな」と漢字が調和よく練習できるように留意した。
  - 4 内容を多方的にし、日記、手紙、封筒の宛名、はがき等の日用書式にもふれた。
  - 5 横書きをとり入れた。
  - 6 興味深く練習ができるようにさし絵も入れた。
  - 7 練習の方法に変化をつけた。
  - 8 漢字の形のとり方を興味的に工夫した。
  - 9 むずかしい漢字の筆順は、巻末を見ればわかるようにした。

(表紙 山田史郎)





名前

Approved by Ministry of Education  
(Date Oct. 3, 1950)

昭和二十五年十月三日印刷  
昭和二十五年十月七日發行

著作者 長岡文雄

發行者 東京修文館  
東京都千代田區神保町一〇二五  
代表者 鈴木金之助

印刷者 共同印刷株式會社  
東京都文京區久堅町一〇八  
代表者 大橋芳雄

發行所 東京都千代田區  
株式會社

広島大学図書

0130449793

432 字の書方 四年上  
定價金拾壹圓五拾錢